

## 株式会社 ナコードについて

### 1 袖ヶ浦リサイクルセンター

#### 廃石膏ボード再資源化事業

▶ 廃石膏ボードから再生された石膏は製品としてセメント会社や石膏ボード会社へ出荷されます。

#### 廃太陽光パネル再資源化事業

▶ 2030年代以降、使用済太陽光パネルの大量廃棄が予測されています。近い将来起こり得る廃棄物問題を解決するため、廃太陽光パネルの再資源化事業に取り組んで参ります。

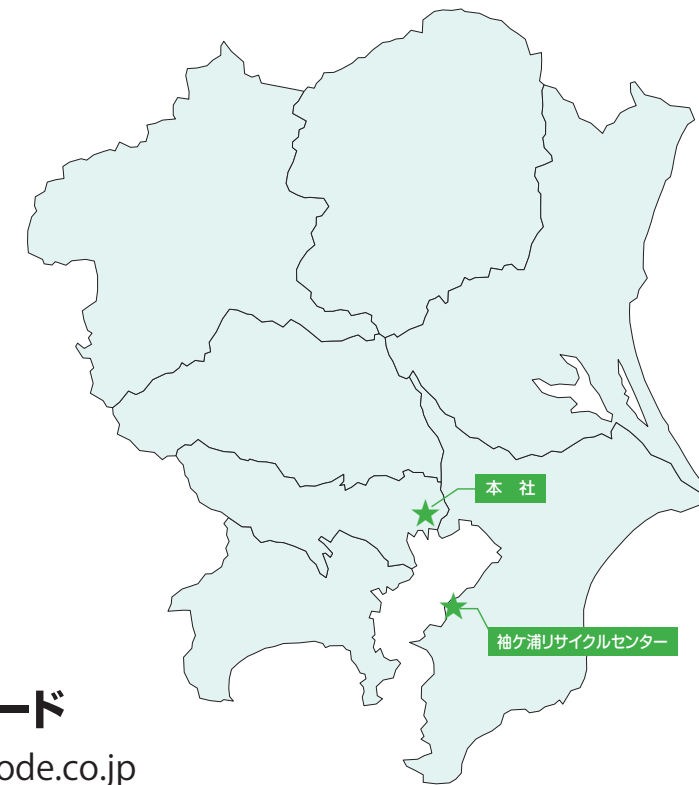
#### 再資源化サービス事業

▶ 新たな資源循環への取組として、廃石膏ボードから石膏ボードへの水平リサイクル、使用済太陽光パネルのリユース販売、処理困難な廃棄物のセメント焼成技術ノウハウを使った再資源化の提案を行っていきます。

### 2 沿革

1997年 7月	株式会社ナコード（ <b>NACODE</b> ）設立
2000年 12月	太平洋セメント株式会社埼玉工場内にて木くず破碎事業開始
2004年 9月	千葉県袖ヶ浦市にて廃石膏ボード処理事業開業（袖ヶ浦リサイクルセンター設立）
2021年 10月	木くず破碎事業撤退
2025年 8月	廃太陽光パネルリサイクル事業開始

# NACODE



#### 株式会社ナコード

<https://www.nacode.co.jp>

##### 本 社

東京都中央区東日本橋 2-27-8  
TEL (03) 3861-3870  
FAX (03) 3861-3871

##### 袖ヶ浦リサイクルセンター

千葉県袖ヶ浦市南袖 44  
TEL (0438) 60-8815  
FAX (0438) 60-8818



株式会社ナコードは太平洋セメント株式会社の100%子会社です。



# 廃石膏ボード再資源化事業

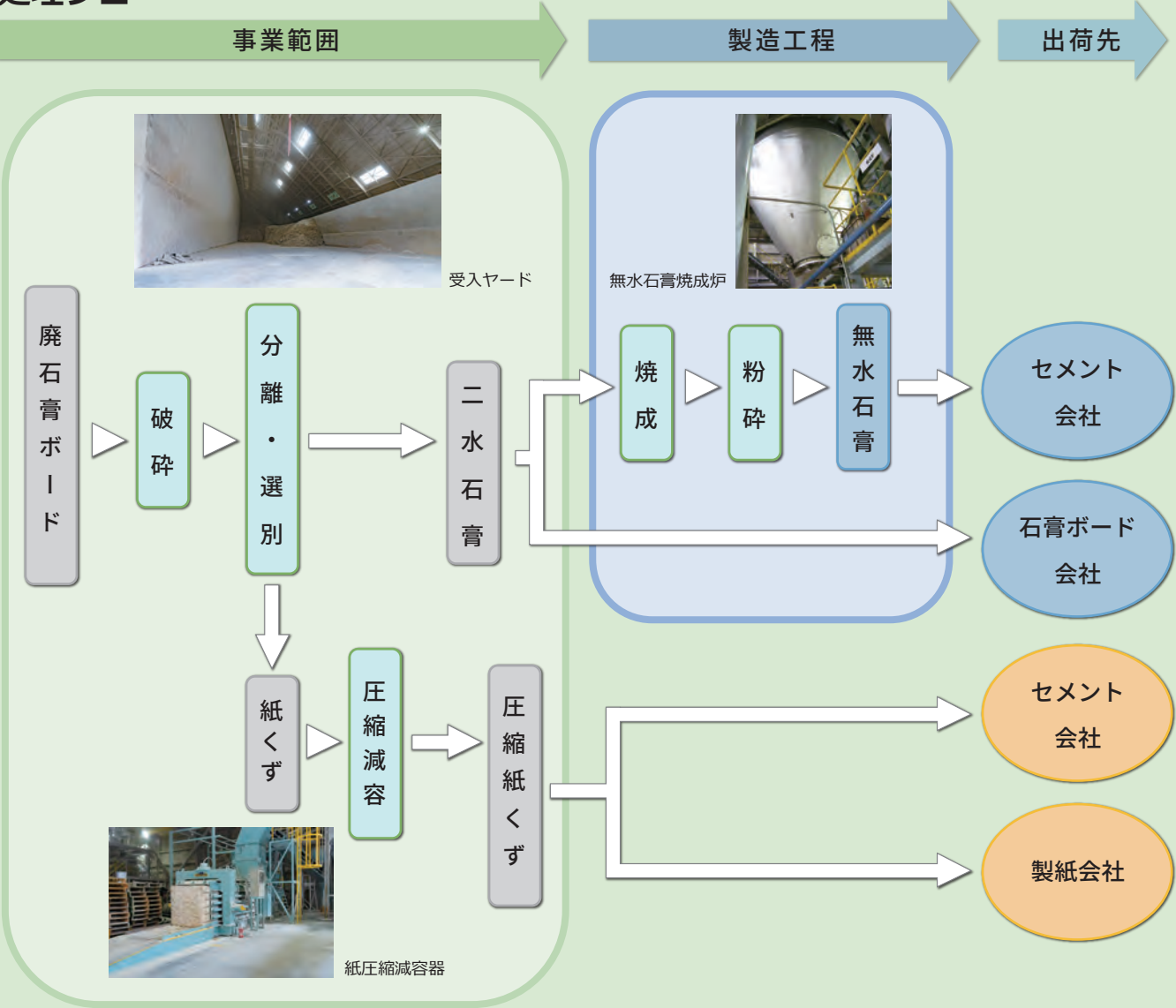
## 概要

建設現場から発生する廃石膏ボードを株式会社ナコード袖ヶ浦サイクルセンターで受入れ破碎選別します。選別された再生石膏粉のうち、一部は石膏ボード会社へ出荷され、新たな製品の原料として再資源化されます。残りの再生石膏粉は焼成処理を経て無水石膏となり、セメント原料として全量が再資源化されます。廃石膏ボード再資源化事業は、限りある天然資源の使用量削減にもつながら、地球環境保全に貢献して参ります。



袖ヶ浦リサイクルセンター場内入口

## 処理フロー



# 廃太陽光パネル再資源化事業

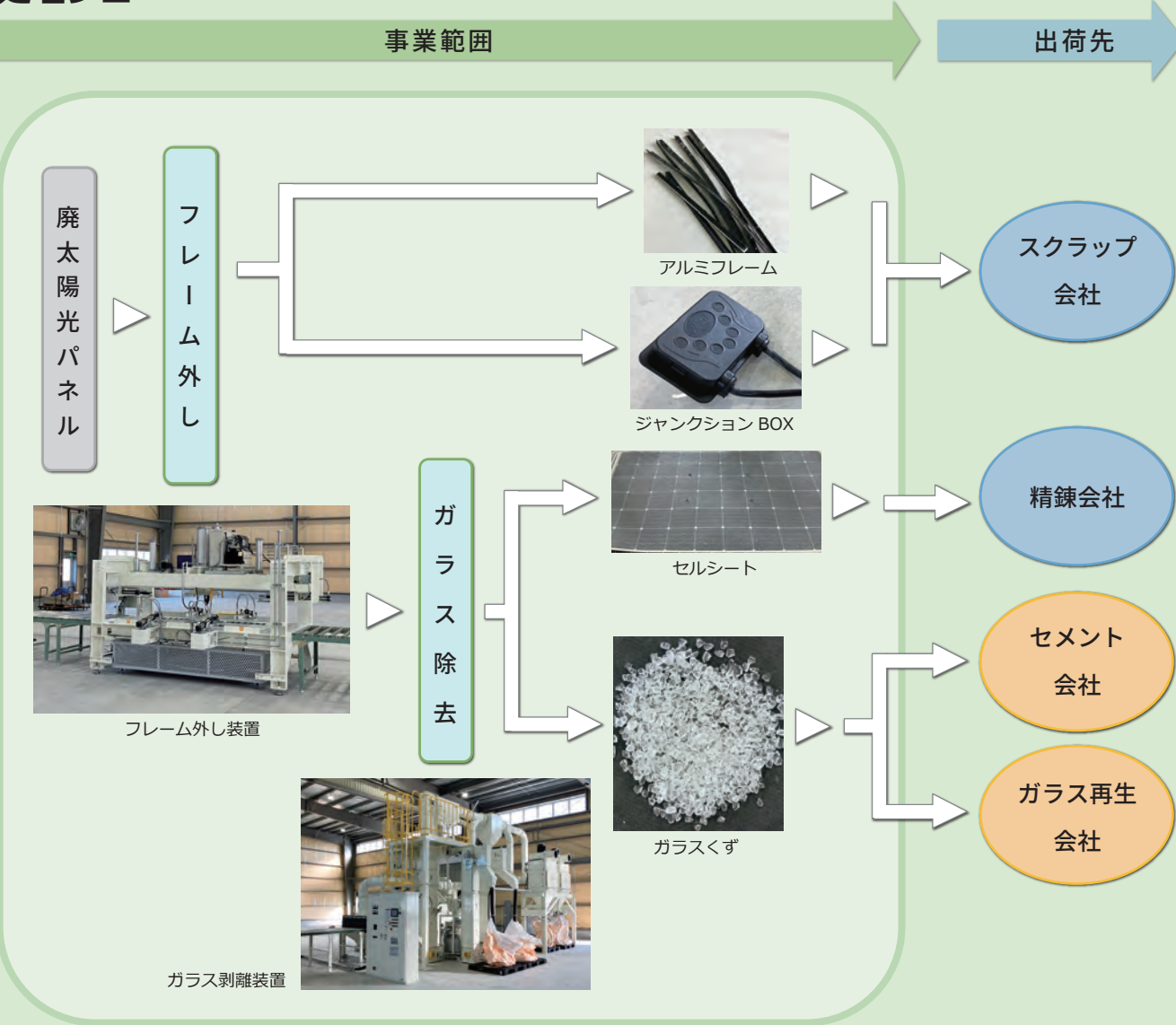
## 概要

廃太陽光パネルのフレーム枠を外した後、ブラストでセルシートの表面部分のガラスを剥離します。フレーム枠はスクラップ会社、ガラス屑はガラス再生会社やセメント会社、セルシートは精錬会社へ出荷されます。



設備全景

## 処理フロー



# 再資源化サービス事業

## 概要

ナコードは資源循環の理念に基づき、廃石膏ボードの水平リサイクル、使用済太陽光パネルのリユース、さらに太平洋セメントグループの一員として、セメント製造技術を活用した廃棄物処理等、多様な再資源化事業を展開していきます。



セメント工場ロータリーキルン

## 資源環境への取組

